

クラウド移行を単純化

Red Hat Enterprise Linux がオンサイト環境とクラウド環境で組織のビジネスをサポート



環境全体で一貫した運用基盤を獲得

Red Hat Enterprise Linux は、ハイブリッド環境とマルチクラウド環境に対応する、理想的な基盤を提供します。

- ▶ 現在のスキルとプロセスをクラウドに拡張
- ▶ 運用と管理を効率化
- ▶ クラウドのセキュリティとコンプライアンスを強化
- ▶ 柔軟性と選択肢を維持
- ▶ クラウドでエキスパートのサポートにアクセス
- ▶ 便利な購入オプションを活用

クラウドの採用は今や当たり前

クラウド・テクノロジーは、現在の進化するデジタル世界で組織が競争力を維持するために役立ちます。クラウド環境を採用することで、効率性とパフォーマンスの向上、およびコスト削減が実現します。そのため、組織の 63% がワークロードの 25% 以上をパブリッククラウド環境で実行するようになっています。¹

しかしながら、クラウドへの移行は複雑性をもたらします。クラウド環境に別のインフラストラクチャ要素が加わり、それらを企業や規制の要件に従って管理しなければなりません。また、89% の組織がそうしているようにマルチクラウド・アプローチを採用すると、運用がさらに複雑になる可能性があります。¹そして、オンサイト環境とクラウド環境の両方でワークロードをうまく実行する方法を決めるのには時間がかかります。

一貫性は、クラウド移行を成功させるために重要な要素です。データセンターとクラウド環境にまたがる運用基盤を単一の基盤で標準化することで、クラウドへの道筋を大幅に単純化できます。運用と管理を複数のドメインに分割せずに、単一セットのツールとプラットフォームを使用して、複数のフットプリントにわたってアプリケーションとワークロードをデプロイ、実行、移動できます。

Red Hat® Enterprise Linux® は、実行場所に関係なくアプリケーション向けに最適化されており、ハイブリッド環境とマルチクラウド環境に対応する、一貫性があり、管理しやすく、高性能な運用基盤を提供します。

Red Hat Enterprise Linux でデータセンターとクラウド環境を統合

[Red Hat Enterprise Linux](#) によってデータセンターとクラウド・インフラストラクチャが統合されるため、運用を効率化し、柔軟性を高め、クラウドへの投資を最大限に活用できます。このクラウド対応のオペレーティングシステム (OS) は、物理、仮想化、ハイブリッドクラウド、マルチクラウド、さらにはエッジ・インフラストラクチャなどのフットプリントで、一貫性のあるカスタマイズされたエクスペリエンスを提供します。また、Red Hat Enterprise Linux には、クラウドで実行するための主要な機能が含まれています。

- ▶ モジュール式のカーネルパッケージのインストールにより、クラウドインスタンスの起動、管理、ストレージ、コストが最適化されます。
- ▶ ビルド済みのクラウドイメージ向けにパッケージセットが最小化されており、サイバーセキュリティ脅威の攻撃対象領域が縮小されます。
- ▶ `cloud-init` のデフォルト設定がベストプラクティスに基づいており、フットプリント全体でセキュリティ、使いやすさ、一貫性が向上するようにシステムを構成します。



サポートが付帯しない無料オペレーティングシステムの隠れたコストを回避

無料版 OS と比較すると、Red Hat Enterprise Linux では、チームがより少ない時間でより多くのことをクラウドで行うことができます。

- ▶ IT インフラストラクチャ・チームの効率が **32%** 向上²
- ▶ セキュリティリスクの特定が **65%** 高速化²
- ▶ 開発ライフサイクルを **35%** 短縮²
- ▶ 予定外のダウンタイムが **81%** 短縮²
- ▶ 3 年間の運用コストを **16%** 削減²

- ▶ ネットワーク構成のデフォルトは、システムをソフトウェア・デファインド・ネットワーキングのベストプラクティスと連携させます。
- ▶ クラウドプロバイダー向けにインスタンスの起動時間がテスト済みで最適化されており、インスタンスがオンラインになるまでの待ち時間が短縮され、クラウドのコストが節約されます。

これらの最適化は、Red Hat Enterprise Linux がクラウド環境で優れたパフォーマンスを発揮できるように、クラウドパートナーとの緊密なコラボレーションによって実現されました。オンサイトデータセンターとクラウド環境の両方で Red Hat Enterprise Linux を標準化すると、クラウドへの移行の際に生産性、セキュリティ、運用を向上させ、デジタル化が進んだ世界に適應するために役立ちます。

現在のスキルとプロセスをクラウドに拡張

フルプリント全体で一貫したエクスペリエンスを提供する Red Hat Enterprise Linux を使用すると、チームの現在のスキル、既存のプロセス、使い慣れたツールをクラウドで引き続き使用できます。その結果、より少ないリスクとコストで、より効率的に稼働を開始できます。

環境全体で運用と管理を効率化

Red Hat Enterprise Linux で標準化すると、運用と管理も効率化されます。[Red Hat Insights](#)、[Red Hat Smart Management](#)、[Red Hat Ansible® Automation Platform](#) などの同じ管理ツール一式を使用して、すべての環境の管理と自動化を行えるため、時間と労力を節約できます。

Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションには、プラットフォームとアプリケーションを継続的に分析して、ハイブリッドクラウド環境の適正な管理と最適化を支援するマネージドサービスである Red Hat Insights へのアクセスが含まれています。Red Hat Insights は、予測分析と詳細なドメイン知識を使用して、セキュリティおよびパフォーマンスのリスクの特定、ライセンスの追跡、コストの管理など、複雑な運用タスクの時間を数時間から数分へと短縮します。運用、セキュリティ、ビジネス成果を中心として、障害、セキュリティイベント、過剰支出が生じる前に、管理者や関係者に警告を發します。また、Red Hat Insights はオンサイト環境とクラウド環境で機能するため、単一のインタフェースからすべてを管理し最適化できます。

そして、運用をさらに単純化するために、Red Hat アカウントをクラウドプロバイダーのアカウントにリンクし、クラウドベースのシステムとワークロードをプロビジョニング時に Red Hat Insights や他の Red Hat サービスに自動的に接続させることもできます。

クラウドのセキュリティ機能とコンプライアンスを強化

一貫性は、セキュリティとコンプライアンスのベストプラクティスの核となるものです。Red Hat Enterprise Linux をすべての環境の運用基盤として使用すると、セキュリティに重点を置き、コンプライアンスに準拠したクラウド環境を維持するために必要な一貫性が得られます。Red Hat Enterprise Linux にはセキュリティ機能が組み込まれており、業界や政府機関の厳格な基準に準拠し、クラウド内の攻撃対象領域を縮小するモジュール式のパッケージ構造に対応しています。Red Hat Insights Compliance サービスは、組織の環境全体でコンプライアンス要件を順守しているかどうかを追跡できるよう支援し、長期にわたるコンプライアンス維持に役立つ修復ガイダンスを提供します。

² IDC ホワイトペーパー (Red Hat 後援) 「[無料版と比較したレッドハットソリューションのビジネス価値](#)」、2021年4月、Document #US47607721。



クラウドプロバイダーを自由に 選択

Red Hat は、Red Hat Enterprise Linux がクラウドで適切に動作するよう、すべての主要なクラウドプロバイダーに加えて、さまざまな地域のプロバイダーと連携しています。

当社のクラウドパートナーシップの詳細をご覧ください。

- ▶ [AWS](#)
- ▶ [Microsoft Azure](#)
- ▶ [Google Cloud](#)
- ▶ [IBM Cloud](#)
- ▶ [Alibaba Cloud](#)

組織に適した認定クラウドプロバイダーを見つけるには
はこちら：catalog.redhat.com/cloud

柔軟性と選択肢を維持

Red Hat Enterprise Linux は、クラウドでの柔軟性と選択肢を提供します。[140 以上の認定クラウドプロバイダー](#)でワークロードを実行できます。一貫性のある運用基盤を使用すると、ワークロードを異なるクラウドプロバイダー間で移動したり、さらには必要に応じてオンサイト・インフラストラクチャに戻したりすることも可能になり、コストを最適化し、新機能を活用し、変化するポリシーや規制に準拠することができます。

また、Red Hat Enterprise Linux を使用すると、任意のクラウドにワークロードを簡単にデプロイできます。付属のイメージビルダーツールにより、カスタマイズされた Red Hat Enterprise Linux イメージを作成し、テンプレートとして保存して、複数のクラウドプロバイダーのインベントリにプッシュできます。また、Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションに含まれる[認定ゴールドイメージ](#)を利用して、デプロイを高速化できます。その結果、オンサイトやクラウド間でデプロイするイメージが一貫して構成されるようにすることができます。

クラウドでエキスパートのサポートにアクセス

Red Hat Enterprise Linux の購入方法に関係なく、Red Hat の[受賞歴のあるサポート部門](#)から直接、またはクラウドプロバイダーのサポートチームを通じて間接的にサポートを受けられます。Red Hat は、お客様が Red Hat ソリューションによって組織の目標を達成できるよう、クラウドパートナーと連携して専門知識、ナレッジ、場合によっては共同サポートモデルを提供します。Red Hat Enterprise Linux を Red Hat から直接入手するか、クラウドプロバイダーから入手するかに関係なく、同じ高価値の体験を得ることができます。

便利な購入オプションを活用

Red Hat サブスクリプションは、ハイブリッド環境とマルチクラウド環境向けに設計されており、Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションは、組織にとって最も有用な場所にデプロイできます。Red Hat では、組織の予算と要件に合わせた複数の購入オプションをご用意しています。

- ▶ **Red Hat から購入：**Red Hat から直接サブスクリプションを購入し、オンサイトまたはクラウドで使用します。
- ▶ **クラウドプロバイダーから購入：**組織が選択したクラウドプロバイダーから Red Hat Enterprise Linux インスタンスを所定の時間ベース（時間単位、月単位、年単位など）で取得します。インスタンスをオンデマンドで購入して、使用した分だけ料金を支払うこともできます。
- ▶ **Red Hat またはクラウドプロバイダーへの支払い決定済み料金を適用：**Red Hat Enterprise Linux インスタンスに、クラウドプロバイダーへの支払い決定済み料金と割引を適用します。または、Red Hat の Hybrid Committed Spend プログラムの資金と割引をサブスクリプションとクラウドインスタンスに使用します。



エキスパートのアドバイスとサービスを利用

すべての組織が、クラウドへの移行を自ら調整する時間、スタッフ、または意欲を持っていないわけではありません。

Red Hat コンサルティングのエキスパートは、組織の成功に重点を置き、組織がハイブリッド戦略やマルチクラウド戦略の計画と実装を効率的に行えるよう支援します。

Red Hat は、クラウド戦略の策定、ハイブリッドクラウド・プラットフォームの迅速な構築と管理、クラウドでのワークロードの移行と最適化などを支援するさまざまなサービスを提供しています。

- ▶ [コンサルティングサービス](#)の詳細はこちら
- ▶ [無料のディスカバリーセッション](#)を予約



クラウドで Red Hat Enterprise Linux の使用を開始する

Red Hat では、組織が選択したクラウドに Red Hat Enterprise Linux をデプロイするための簡単なオプションを複数ご用意しています。

オプション 1: 前払いのサブスクリプション

Red Hat から購入した Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションを、組織が選択した[認定クラウドおよびサービスプロバイダー](#)で使用できます。クラウドプロバイダーを選択し、Red Hat ゴールドイメージを使用するかクラウドで独自のイメージを使用するかを決定するだけです。サブスクリプションには、Alibaba Cloud、Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud、IBM Cloud など、あらゆる主要なクラウドプロバイダー向けに共同開発された Red Hat ゴールドイメージが含まれています。ゴールドイメージをクラウドアカウントに追加するには、console.redhat.com にログインまたは登録して、クラウドアカウントに関する基本情報を入力します。[イメージビルダーツール](#)または独自のツールで構築されたカスタムイメージをクラウドアカウントにインポートすることもできます。

オプション 2: オンデマンドインスタンス

すぐに使用できる Red Hat Enterprise Linux インスタンスは、[AWS](#)、[Microsoft Azure](#)、[Google Cloud](#) など、多くのクラウドプロバイダーのマーケットプレイスを通じて提供されます。これらのイメージは、クラウドプロバイダーを通じて購入され、使用に応じてオンデマンドで課金されます。

オプション 3: ハイブリッドクラウドへの支払い決定済み料金

AWS、Microsoft Azure、Google Cloud への支払い決定済み料金と割引を、これらのクラウドの Red Hat Enterprise Linux インスタンスに使用できます。

また、これらすべてのオプションでは、Red Hat とクラウドプロバイダーのアカウントをリンクできるため、Red Hat Insights を介して管理を単純化し、Red Hat リソースに簡単にアクセスできます。

Red Hat Enterprise Linux でクラウドへの移行を単純化

クラウドの採用は今や当たり前のことです。クラウド移行のどの段階にあるかにかかわらず、Red Hat Enterprise Linux は組織がより効率的かつ効果的に前進するために役立ちます。

- ▶ [クラウドで Red Hat サブスクリプション](#)を使用する方法の詳細をご覧ください。
- ▶ [クラウドでの Red Hat Enterprise Linux のメリット](#)の詳細をご覧ください。

Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のあるサポート](#)、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

アジア太平洋 +65 6490 4200 apac@redhat.com	インドネシア 001 803 440 224	マレーシア 1800 812 678	中国 800 810 2100
オーストラリア 1800 733 428	日本 03 4590 7472	ニュージーランド 0800 450 503	香港 800 901 222
インド +91 22 3987 8888	韓国 080 708 0880	シンガポール 800 448 1430	台湾 0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan
t twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
F32122_1022_KVM

Copyright © 2022 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat ロゴ、および Ansible は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。